

地域社会の経済発展月間 リソースのご案内

< RI ページ > *タイトルにリンクが設定されていますのでクリックしてリンク先ご参照下さい。

➤ 地域経済の発展

雇用されているにもかかわらず 1 日にわずか 1 ドル 90 セント(約 220 円)で暮らしている人の数は、世界で約 8 億人。ロータリーは、貧困問題に持続可能な解決策をもたらすために活動しています。

➤ 奉仕プロジェクトセンター

奉仕プロジェクトセンター(旧ロータリーショーケース)では、ロータリークラブや地区が実施した様々な活動や計画中のプロジェクトの情報を掲載・閲覧することができます。奉仕プロジェクトセンターを初めてご利用の際には、[奉仕プロジェクトセンターへようこそ](#)をご覧ください。

➤ ロータリー行動グループ

ロータリー行動グループは、クラブが地域社会を強化するための持続可能かつ効果的な奉仕プロジェクトを立案するのを支援します。プロジェクトの計画と実施に関してクラブに助言を与え、パートナーや資金、リソースを探す手助けをしてくれます。

➤ パートナー

より効果的で持続可能性の高いプロジェクトを計画するため、ロータリーのパートナーとクラブが協力することができます。

< ラーニングセンター >

本月間に関連するコースもございますので、詳細は[ラーニングセンターコース一覧](#)をご確認ください。

< 各種資料 > 印刷物の販売、取り扱いは終了となっておりますので、電子ファイルをご活用ください。

➤ ロータリーの重点分野

各重点分野のプロジェクト計画に関するヒントをご紹介します。

💡 当分野でのグローバル補助金プロジェクトをお考えの方へ

≫ [重点分野の基本方針](#)

≫ [「地域社会の経済発展」グローバル補助金 授与のガイドライン](#)

< ウェブ掲載記事 >

▶ ネパール先住民居住区での持続可能な農村開発

何とかしてあげたいと思ったラメッシュさんがクラブの仲間に相談すると、会員たちは、チプチプ村に飲料水の設備を設置することに賛同し、グローバル補助金を活用したプロジェクトを実施したいと考えました。

(2023年 10 月、ロータリーボイス)

▶ 元飛行士が次世代科学者の指導にあたる

元軍用飛行士で、米国の宇宙関連機関の契約社員だったジョンダー・ブラッドショーさんは、現在、次世代の科学者やエンジニア、特に恵まれない地域の若者を指導するという別の使命を持っています。

(2023 年 5 月、ニュース・特集記事ページ)

▶ 貧しくても奉仕:アフリカの人びとから学ぶ

クラブ会員たちが話し合うのを聞きながら、私は涙を抑えきれませんでした。まだ国際ロータリーから正式に加盟認証されていないにもかかわらず、近くの村の人たちを助ける奉仕プロジェクトの計画をもう話し合っていたのです。しかも、創立会員である女性たちは、貧困ラインを大きく下回っていました。

(2022 年 8 月、ロータリーボイス)

▶ 地域の社会起業家を育てる

東京愛宕ロータリークラブでは創立以来、“地域の社会課題の解決を目標とした起業家”を対象とした、現役の経営者を招いた講演会などの支援プログラムを定期的に行っていました。

(2021 年 5 月、ロータリーボイス)

▶ 自然とともに 地域社会を育てる

コスタリカのロータリー財団グローバル補助金プロジェクトでは、ビジネス研修、アクアポニックス(養魚と水栽培を組み合わせたシステムで、栄養豊富な水の中で植物を栽培する技術)の設置、サステナビリティ・ハウスのリフォームを行いました。

(2020 年 8 月、ニュース・特集記事ページ)

▶ まちを元気にする若者をつなげ 新たなインスピレーションを与える！

有田ロータリークラブは創立 60 周年記念事業として、「まちづくりサミット」を開催しました。

まちづくりのアジェンダとしては若者の参加、地域社会への貢献者の表彰、グループリーダーのパネルディスカッション、キーマンを生み出すなどの内容で実施されました。

(2019 年 7 月、ロータリーボイス)

< 映像資料 >

▶ ビニシュ・デサイ

バイブラント・ヴァルサー・ロータリークラブ(インド)会員である社会起業家ビニシュ・デサイさんは、エコ製品のパイオニアである Eco-Eclectic Technologies を創立。大量の産業廃棄物と家庭ごみをリサイクルして、さまざまな製品を作っています。[日本語字幕、1 分 38 秒]

➤ [女性の支援に立ち上がる女性たち](#)

フェアトレードの製品とサービスを提供する非営利団体「Seven Women」は、ネパールの女性たちのエンパワメントを目指して、メルボルン・ロータリークラブ（オーストラリア）会員のステファニー・ウラードさんと元ロータリー平和フェローによって 2006 年に設立されました。収入向上と自立のために、女性たちはスキル、読み書き、資産管理の研修を受けます。[日本語字幕、1 分 24 秒]

➤ [森林農業を育てる](#)

Maceió-Farol ロータリークラブ（ブラジル、第 4391 地区）は、地元農家とともに「Planting Agroforestry」（森林農業を育てる）プロジェクトに取り組んでいます。クラブが立ち上げたこのプロジェクトでは、持続可能な植林と有機農業を組み合わせ、土壌の持続可能性を高め、農産物の生産を増やしています。

[日本語字幕、1 分 29 秒]

➤ [平和をめざす有機栽培](#)

スパンサー・レオンさん（2013 年平和フェロー、Go Organics 創設者）が、経済発展を通じて収入の不平等に取り組み、平和を築くという使命について語りました。Go Organics は、独立農家と生産者に、持続可能性、再生農業、作物の市場販売に関する知識を教えています。[日本語字幕、1 分 34 秒]

■ブランドリソースセンターの動画一覧は» [こちら](#) ■YouTube は» [こちら](#)

■ポリオ根絶に関する各種リンク ※本年は EPN リソースの配信はございません。

- » [ブランドリソースセンターにあるポリオ関連リソース](#)
- » [世界ポリオデーのリソース](#)
- » [リソースセンター](#)
- » [クラブのポリオ根絶活動 記録用フォーム](#)
- » [ニュース&ストーリー](#)
- » [ポリオを追跡した 18 年を写真家が振り返る\(ニュース・特集記事\)](#)
- » [我が子を襲った悲劇 ― ワクチンを拒否する親たちへの訴え\(ロータリーボイス\)](#)
- » [ポリオ根絶に関する分科会で力強いメッセージを発信\(ロータリーボイス\)](#)
- » [ポリオ根絶への投資がもたらす大きなリターン\(ロータリーボイス\)](#)
- » [若い世代を起用して魅力あるイベントを\(ロータリーボイス\)](#)
- » [2023 年世界ポリオデーのハイライト](#)

■利用規約は» [こちら](#)